入試説明会 2014.6.4

H26年度に実施する新しい入試制度について

大学院情報システム学研究科

入試時期と選抜種類

		6月	7月	10月	2月
前期課程（修士）	特別選抜 (学校推薦) (自己推薦)	○			
	一般選抜		○(筆記:内容変更)	○(口述)若干名	○(口述)若干名
	社会人選抜		○	○	○
後期課程	一般選抜		○	○	○
	社会人選抜		○	○	○

募集人員

専　攻	前期課程（修士）			後期課程	
	定員	募 集		定員	募集
		6月	7月		7月
情報メディアシステム学	32	9	23	8	8
社会知能情報学	30	9	21	8	8
情報ネットワークシステム学	28	8	20	7	7
情報システム基盤学	28	8	20	7	7
合　計	118	34	84	30	30

６月入試

前期課程（修士）：特別選抜（学校推薦）
（自己推薦）

日程と募集人員（2014年度実施）

- 出願期間：6月２日（月）～６日（金）
- 選抜期日：6月17日（火）
- 合格発表：7月2日（水）
- 募集人員
  - 平成26年4月入学　研究科全体で34名　（約3割）
    （H25年度：21名合格）
  - 平成25年10月入学も可能（若干名のみ）

＊特別選抜（学校推薦方式）：新設

- 出願要件
  - 現に所属する大学・高専等の長から推薦を受けた者
  - 所属研究室を決めて合格させる制度です
  - 入学を強く希望し，入学を確約できること
  - 指導を希望する教員と事前に面談して了解を取ること

    志願票に，指導希望先の教員の押印を要.

    本学・情報理工学研究科との併願禁止.

    学科あたり研究科へ2名まで推薦できる.

特別選抜（学校推薦方式）

- 選抜方法
  - 口頭試問・面接（30分間）
    - 志望理由，卒業研究などについての発表　10～15分程度
    - 発表内容などについての質疑応答　15分程度

及び

  - 書類審査
    - 入学志願票，推薦書，学業成績等に基づく審査

＊特別選抜（自己推薦方式）

- 出願要件

  - 自ら誇れる業績・経験・学業成績があること

    ・学会等での発表経験
    ・良好な学業成績
    ・個人やチームの一員としての顕著な活躍
    ・コンテストなどでの入賞
    ・外国大使館の推薦　　などが一例.

  人文社会・芸術・デザイン系学科の者も　推奨

  - 入学を強く希望し，入学を確約できること

  - 希望先の指導教員と事前にコンタクトを取ること

    ただし，志願票に希望先教員の押印は不要

特別選抜（自己推薦方式）

- 選抜方法

  - 口頭試問・面接（30分間）
    - 自ら誇れる業績･経験，志望理由，卒業研究などについての発表　10～15分程度
    - 発表内容などについての質疑応答　15分程度

及び

  - 書類審査
    - 入学志願票，志望理由書等に基づく審査

所属研究室の決定：早期内定制度

- 通常配属（入学後配属）
  - 4月当初に研究室説明会を開催.
    学生の配属希望をもとに研究室を決定.
- 早期内定（合格発表後の配属）
  - 研究室配属希望が明確になっている合格者は,
    所属研究室（指導教員）を入学前に内定できる.
  - 希望指導教員と面談の上，承諾が必要.
  - 人数枠がある.　（6月入試合格者の大半は早期内定）

(6月入試（学校推薦）は研究室を決めての合格)

７月入試

一般選抜・社会人選抜

（2014年度から内容変更）

日程（2014年度実施）

- 出願期間： 7月3日（木）～ 10日（木）
- 選抜試験： 7月27日（日），28日（月）
- 合格発表： 8月18日（月）
- 選抜種類：
  - 前期課程　一般選抜，社会人選抜
  - 後期課程　一般選抜，社会人選抜
- 入学時期：平成27年4月，平成26年10月

前期課程（修士） 一般選抜・7月

- 選抜方法
  - 英語試験：TOEFL/TOEIC/IELTSスコアを100点満点に換算
  - 専門試験：筆記試験, 300点満点.

    [基礎数学（必修），選択専門科目]　の両方を受ける.

    基礎数学（100点，50分）　全員必修.

    選択専門科目（200点，100分）　3科目から1科目選択.
  - 面　　接：志望動機・基礎能力について　10分
  - 書類審査：入学志願票，志望理由書等

☆注意：各科目で一定点数に達しないと不合格の可能性有

基礎数学（必修，100点，50分）

出題範囲：大学1年次と2年次前半までに学ぶ基礎的な数学の範囲から，

線形代数：行列，行列式，ベクトル空間，固有値と固有ベクトル，線形写像

解析：1変数関数の微分積分，偏微分，数列・級数

について各基本項目の理解を問う計算問題を出題.

選択専門科目　：内容を変更する

- 選択専門科目：次の3科目から1科目を選択・解答（200点満点，試験時間を100分に短縮．）

科目1：コンピュータ科学・電気系

-- 従来のコンピュータ科学系と電気系を1科目として併合した．出題範囲は同じ．4題出題，2題選択解答．

科目2：機械・力学系

-- 従来の機械・力学系とほぼ同じ．

科目3：数学系　（出題範囲を改訂する）．

選択専門科目の内容変更 （1）

- 選択専門科目 ： 次の3科目から1科目を選択・解答（200点満点，試験時間を100分に短縮．）

科目1： コンピュータ科学・電気系

以下の4題を出題し，2題を選択して解答する：

(1) コンピュータシステム基礎

(2) データ構造とアルゴリズム

(3) 論理回路

(4) 電気回路

出題範囲はH25年度とほぼ同じ．

選択専門科目の内容変更　(2)

科目2:　機械・力学系

物理としての力学問題を出題. 具体的には,

質点や剛体に関する運動方程式, 運動量, 運動エネルギーなどの概念やその具体的な力学システムへの応用についての理解を問う.

選択専門科目の内容変更　（３）

科目３：　数学系　　(出題範囲の変更)

　　解析，線形代数，確率論の中から，数学的思考力，計算力，論理能力，応用力を問う問題を出題する．具体的には，

　微分積分（多変数を含む），微分方程式，ベクトル空間，線形写像，固有値と固有ベクトル，事象と確率，確率変数，期待値と分散，確率分布，確率密度関数など

　を出題範囲とする．

英語試験のスコア提出

・英語試験のスコア提出

－出願時にスコア提出が必要

TOEFL，TOEIC，IELTS のいずれかを提出.

☆ スコアが添付されていないと願書は受理されない.

・スコアをもっていない学生は至急対応すること

例：TOEICの場合（昨年の場合）

７月入試 ⇒ ５月２６日実施の試験が最後だった.

試験申し込み締め切りは ４月上旬が限界.

前期課程 一般選抜

- 研究室の決定方法
  - 通常配属

    ４月に学生の配属希望をもとに研究室を決定.

  - 早期内定

    所属研究室（指導教員）を入学前に内定できる.

前期課程 社会人選抜

	資格(1)	資格(2)
出願条件	入学時点で2年以上企業等に正規職員として勤務. 入学後も，在職する企業等の所属長等から就学について承諾されている.	出願時に３年以上企業等での実務経験を有し，希望研究分野に関連した優れた業績（特許，論文など）を有す者
選抜方法	口頭試問・面接（30分），書類審査	左と同じ.

（従来の（２）を廃止し（１）に統合

指導希望教員の事前了承が必要

- 出願前に希望指導教員と研究内容等を相談して了承を受け，志願票に確認印をもらう.

10月入学

- 募集人員
  - 各専攻：若干名
  - 後期課程については十分な枠がある.
- 注意事項
  - 出願前に希望指導教員との相談・承諾が必要.
  - 所属研究室（指導教員）は合格時に内定.

研究科事務室あるいは入試課に相談すること.

後期課程　一般選抜

- 選抜方法
  - 英語はスコアを提出
  - 口頭試問・面接（30分）
  - 書類審査
- 所属研究室（指導教員）は合格時に内定
- 希望指導教員の事前の了承が必要
  - 出願前に，希望指導教員と研究内容等を相談し了承を受け，志願票に確認印をもらうこと.

後期課程　社会人選抜

- 出願条件
  - 入学時点，企業等に２年以上正規職員として勤務経験.
  - 入学後も企業等に在職したまま就学する場合には，所属長等から就学の承諾を受ける必要がある.
- 選抜方法
  - 口頭試問・面接（30分）
  - 書類審査
- 所属研究室（指導教員）は合格時に内定
- 希望指導教員の事前の了承が必要

入試時期と選抜種類

		6月	7月	10月	2月
前期課程（修士）	特別選抜 (学校推薦) (自己推薦)	○			
	一般選抜		○(筆記:内容変更)	○(口述)若干名	○(口述)若干名
	社会人選抜		○	○	○
後期課程	一般選抜		○	○	○
	社会人選抜		○	○	○

10月・2月入試

１０月、２月入試の概要

- 募集対象
  - 前期課程　一般選抜，社会人選抜
  - 後期課程　一般選抜，社会人選抜

- 試験方法
  - 前期課程 一般選抜：特に優秀な学生

    英語はスコア提出

    専門は口述試験のみ

    H25年度・修士は
    10月入試：16人合格
    2月入試：　5人合格

  - 前期課程 社会人選抜
  - 後期課程 一般，社会人

  } ７月入試と同じ.

今後の入試説明会（予定）

- 学内開催

６月　４日（水）（本日）

・研究室公開　13:30-16:30

１１月２２日（土）

・研究室公開

過去の入試問題の入手方法

過去3年間(H23年度からH25年度実施）の
入試問題は本学・大学生協において販売中です.

入試制度（修士向け）改定の要約

１．6月特別選抜に学校推薦制を追加.

２．7月一般選抜の筆記試験の変更

2.1　基礎数学（100点，50分，必須)を新設

-- 線形代数と解析の基礎的な範囲.

計算問題主体.

2.2　選択専門科目（200点，100分）

- コンピュータ科学と電気系を1科目に併合.

（4題出題から2題を選択にして自由度ＵＰ）

- 機械・力学系は従来とほぼ同じ.
- 数学系は範囲を改訂した.
- 人文・社会系を廃止.

過去問を
正しく
勉強すれば
対応できるはず

入試制度（修士向け）改定の周知手段

本研究科のWebサイト

www.is.uec.ac.jp

において，スライドと7月筆記の正確な出題範囲の記述文をＰＤＦにて公開しています.

＊　7月入試・筆記の選択専門科目については，過去問を参照して受験準備をしてもらえば問題ありません.

志願する場合は，必ず「学生募集要項」で内容を確認してください.

コンピュータ　ネットワーク
ICT　情報システム
人と社会
に関心のある

諸君を待っています

付録

入学見込（H26年4月，修士）学内

情報・通信工学（Ｉ）	20 程度	
機械（Ｍ）	15 程度	
先進理工（Ｓ）	12 程度	約70名
総合情報（Ｊ）	7 程度	
旧学科(C,E,J,M,T,H)	14 程度	

（数値は見込み）

学外からの入学（4月見込,修士）

国立大（約15）: 宇都宮，香川，群馬，鳥取，豊橋技科, 新潟，北海道，茨城，金沢，東北，名工大，室蘭工大，など．(10月入試で増).

私大（約30): 中央大，電機大，理科大，日大，立命館，同志社, 明大,東京工科大，…

高専3，外国4. 公立大０（なぜ？）

計50名程度